

# 令和元年度事業評価 課別評価シート

## 【福祉部 高齢福祉課】

### 目 次

- |                   |      |
|-------------------|------|
| 1 各事業の進捗管理        | P. 1 |
| 2 【高齢者福祉】分野の事業の評価 | P. 4 |

このシートでは、基本構想の実現に向けて、目指すべき中間アウトカムと、それを達成するための手段を整理しています。

各課ではこのシートを活用し、計画事業の進行管理を行うとともに、中間アウトカムの達成の観点から自己評価を行い、計画事業の今後の方向性を検討します。

評価の対象となる計画事業	
事業番号	事業名
高福02-03	ミドル・シニア社会参加推進事業
高福02-04	シルバー人材センターの活動支援
高福02-05	生活支援体制整備事業
高福02-06	元気高齢者が活躍！介護施設ワークサポート事業
高福03-03	高齢者緊急連絡カード設置
高福03-04	ハートフルネットワーク事業
高福03-05	認知症施策の総合的な推進
高福06-01	地域包括支援センター（高齢者安心相談センター）の充実
高福06-02	医療と介護の連携強化
高福06-03	地域包括ケア推進委員会の運営

※事業番号は、「基本構想実施計画」に掲載している番号を使用しています

課題の発見及び今後の方向性を記載にあたっては、以下の点を参考としてください。

#### 《検討の視点》

##### 課題の洗い出し

- |  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○中間アウトカム等に影響を与える、社会状況の変化</li> <li>○中間アウトカム等に関連する、区民ニーズの変化</li> <li>○中間アウトカムの達成に向けた、各事業の貢献度<br/>(事業実績の推移)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○左記の他、事業実施に当たり、必要となる考え方<br/>(例) ・「補助金ガイドライン」に沿った、適正な補助金の交付</li> <li>・障害を理由とした差別の解消・合理的配慮</li> <li>・男女平等参画や性的指向・性自認などへの配慮 など</li> </ul> |
|--|---|

見直す必要のある計画事業を抽出

##### 方向性の検討

- 中間アウトカム等の達成に向けた、より効果的・効率的な手段
- 中間アウトカム等の達成に向けた、より適切なサービスの提供主体（民間活力の活用）
- 中間アウトカムや事業目的が類似する事業との連携（整理・統合）
- 新規事業の必要性
- 投入する資源（予算・人員）の最適化・再配分

##### 【方向性の類型】

- |                                |                             |
|--------------------------------|-----------------------------|
| 拡充 → 計画していた事業内容から、量・対象を拡充するもの  | 現状維持 → 事業の対象・質、コストとも変わらないもの |
| 改善・見直し → 計画していた取組手法を改善・見直しするもの | 縮小 → 計画していた事業内容を縮小するもの      |
| 終了予定 → 今年度中に終了を予定しているもの        | 終了済 → 昨年度までに終了した事業          |

# 1 各事業の実施状況(進行管理)

基本構想実施計画に掲げた事業量を達成するために、各計画事業の実施状況をチェックし、課題があるものについては、その内容と改善策を記載します。

事業番号	事業名		中間アウトカム				
高福02-03	ミドル・シニア社会参加推進事業		高齢者福祉(B)				
			H29	H30	H31	累計	3年計画
主な取組	ミドル・シニア講座、絵本の読み聞かせ講座、高齢者施設ボランティア講座、フォローアップ講座の実施	回	19	19		38	57
	事業費(千円)		4,851	3,617			
	行政コスト(千円)		14,699			進捗の課題	無
	所要人員		1,800	1,858			
進捗の課題と改善策							

事業番号	事業名		中間アウトカム				
高福02-04	シルバー人材センターの活動支援		高齢者福祉(B)				
			H29	H30	H31	累計	3年計画
主な取組	シルバー人材センター会員数	人	1,020	1,064			1,100
	事業費(千円)		36,957	33,256			
	行政コスト(千円)		39,438			進捗の課題	無
	所要人員		0.434	0.703			
進捗の課題と改善策							

事業番号	事業名		中間アウトカム			
高福02-05	生活支援体制整備事業		高齢者福祉(B)			
			H29	H30	H31	
主な取組	生活支援コーディネーターとの連絡会議を月例で開催し、区内16カ所で通いの場を開始しました。			生活支援コーディネーターとの連絡会議を月例で開催し、区内25カ所で通いの場を開始しました。		
	事業費(千円)		23,804		23,487	
	行政コスト(千円)		24,839			
	所要人員		0.188		0.103	
進捗の課題	無	進捗の課題と改善策				

事業番号	事業名		中間アウトカム				
高福02-06	元気高齢者が活躍！介護施設ワークサポート事業		高齢者福祉(B)				
			H29	H30	H31	累計	3年計画
主な取組	介護施設お助け隊派遣時間数	時間	965	2,000		2,965	5,000
	介護施設就業体験セミナーの実施	回	2	3		5	8
	事業費(千円)		2,724	4,458			
	行政コスト(千円)		10,801			進捗の課題	無
	所要人員		1,322	0,781			
進捗の課題と改善策							

事業番号	事業名	中間アウトカム					
高福03-03	高齢者緊急連絡カード設置	高齢者福祉(C)					
		H29	H30	H31	累計	3カ年計画	
主な取組	65歳以上のひとり暮らし高齢者世帯に対して調査を実施し設置	回	1(補充調査)	1(補充調査)		2(補充調査)	全件調査1回 補充調査2回
	80歳以上の高齢者のみの世帯に対して調査を実施し、設置	回	1(全件調査)	1(補充調査)		1(全件調査) 1(補充調査)	全件調査1回 補充調査2回
事業費(千円)			742	423			
行政コスト(千円)			6,387			進捗の課題	無
所要人員			1.001	0.980			
進捗の課題と改善策							

事業番号	事業名	中間アウトカム		
高福03-04	ハートフルネットワーク事業	高齢者福祉(C)		
		H29	H30	H31
主な取組	協力機関との連絡会を開催するとともに、パンフレット発行等による事業周知及び新規登録の働きかけを行いました。協力機関数666。		協力機関との連絡会を開催するとともに、パンフレット発行等による事業周知及び新規登録の働きかけを行いました。協力機関数655。	
事業費(千円)			881	898
行政コスト(千円)			-	-
所要人員			0.018	0.018
進捗の課題		無	進捗の課題と改善策	

事業番号	事業名	中間アウトカム					
高福03-05	認知症施策の総合的な推進	高齢者福祉(C)					
		H29	H30	H31	累計	3カ年計画	
主な取組	もの忘れ医療相談件数	件	43	28		71	159
	認知症高齢者等徘徊対策事業(SOSメール協力者数)	人	603	640			1,000
事業費(千円)			35,754	30,695			
行政コスト(千円)			60,628			進捗の課題	有
所要人員			3.667	3.578			
進捗の課題と改善策		もの忘れ医療相談については、認知症のことを適時・適切なタイミングで相談できる事業として、周知方法や利用のしやすさについて引き続き創意工夫していきます。SOSメール協力者については地域の協力者増に向けての呼びかけを機会をとらえて行い、地域における見守り体制整備の支援を行っています。					

事業番号	事業名	中間アウトカム		
高福06-01	地域包括支援センター(高齢者あんしん相談センター)の充実	高齢者福祉(D)		
		H29	H30	H31
主な取組	総相談件数は35,315件と前年度比7.0%増加しました。また、地域ケア会議において困難ケースへの対応について関係機関と意見交換を行いました。		総相談件数は37,874件と前年度比7.3%増加しました。相談件数の増加や相談内容が複雑化する中でも、適切にセンターとしての役割を果たせるよう虐待対応研修や認知症対応力研修など職員の資質向上を図りました。	
事業費(千円)			24,000	24,000
行政コスト(千円)			-	-
所要人員			0.114	0.111
進捗の課題		無	進捗の課題と改善策	

事業番号	事業名	中間アウトカム		
高福06-02	医療と介護の連携強化	高齢者福祉(D)		
		H29	H30	H31
主な取組	高齢者あんしん相談センターの在宅療養支援窓口において、在宅における介護環境の調整や介護支援専門員への情報提供等を行いました。		在宅療養支援窓口において、病院やケアマネジャーと連携して退院支援や在宅支援に取り組みました。	
事業費(千円)			4,800	4,800
行政コスト(千円)			5,210	
所要人員			0.059	0.058
進捗の課題		無	進捗の課題と改善策	

事業番号		事業名		中間アウトカム			
高福06-03		地域包括ケア推進委員会の運営		高齢者福祉(D)			
		H29	H30	H31	累計	3カ年計画	
主な取組	地域包括ケア推進委員会の運営	回	7	4		11	19
	専門部会の運営(高齢者あんしん相談センター評価専門部会、医療介護連携専門部会)	回	4	7		11	18
事業費(千円)			1,375	896			
行政コスト(千円)			7,948				
所要人員			1.070	0.433			
進捗の課題と改善策		進捗の課題					無

## 2 【高齢者福祉】分野の中間アウトカムに関する事業の評価

【福祉部 高齢福祉課】

本区の事業評価では、基本構想に掲げる各分野の将来像を達成するための、具体的に目指すべき状態を中間アウトカムとしています。ここでは、中間アウトカムまたは事業目的の達成に向け、課題を有する計画事業がある場合に、その課題の内容と今後の方向性を記載します。

### 基本構想実施計画

中項目	<b>2-1 高齢者福祉</b>
将来像	<b>歳を重ねても、いきいきと自分らしく暮らせるまち</b>

### 中間アウトカム (A)

### 高齢者が、個々の状況に応じた、暮らしやすい環境で生活している

事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
高福02-06	元気高齢者が活躍！介護施設ワークサポート事業	高齢福祉課	介護人材不足を側面的に補充している	現状維持	現状維持
高福01-01	民間事業者による高齢者施設の整備	福祉政策課	介護を必要とする高齢者のニーズに合った施設整備が進んでいる		
高福01-02	旧区立特別養護老人ホームの大規模改修	福祉政策課	安心して施設を利用することができる		
高福01-03	文京すまいるプロジェクトの推進	福祉政策課	住宅の確保に配慮を要する高齢者等に対し、住まいが確保され、住まい方の支援が行なわれている		
高福01-04	特別養護老人ホーム文京大塚みどりの郷の大規模改修	福祉政策課	安心して施設を利用することができる		
高福01-05	地域密着型サービス施設整備費補助	介護保険課	介護を必要とする高齢者のニーズに合った施設整備が進んでいる		
高福04-01	介護人材確保・定着等支援事業	介護保険課	区内介護サービス事業所の人材が確保され、定着している		
住03-01	バリアフリー基本構想の推進	都市計画課	ハードとソフトの両面から、区全体のバリアフリー化が進められている		
住03-02	バリアフリーの道づくり	道路課	区道のバリアフリー化が進められている		

### 中間アウトカム (B)

### 高齢者が、生きがいや居場所を持っていつまでも元気に暮らしている

事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
高福02-03	ミドル・シニア社会参加推進事業	高齢福祉課	おおむね50歳以上の区民が、主体的に社会参加している	現状維持	現状維持
高福02-04	シルバー人材センターの活動支援	高齢福祉課	元気高齢者が、地域貢献にもつながるいきがい就業を行っている	現状維持	現状維持
高福02-05	生活支援体制整備事業	高齢福祉課	高齢者の介護予防及び地域での支え合いの体制が整っている	現状維持	現状維持
高福02-06	元気高齢者が活躍！介護施設ワークサポート事業	高齢福祉課	元気高齢者が介護施設で活躍している	現状維持	現状維持
高福02-01	ふれあいいきいきサロンへの助成	福祉政策課	高齢者・障害者・子育て世帯が、地域で交流を深めている		
高福02-02	地域の支え合い体制づくり推進事業	福祉政策課	高齢者の地域の居場所が増え、住民同士が活発に交流している		
高福02-07	一般介護予防事業の推進	健康推進課	高齢者の健康が保たれている		

### 中間アウトカム(C)

### 高齢者が地域で見守られ、安全・安心な暮らしを送っている

事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
高福03-03	高齢者緊急連絡カード設置	高齢福祉課	高齢者の緊急事態に適切に対処できている	現状維持	現状維持
高福03-04	ハートフルネットワーク事業	高齢福祉課	高齢者を見守る協力機関が増え、効果的な連携体制が整っている	現状維持	現状維持
高福03-05	認知症施策の総合的な推進	高齢福祉課	認知症への理解が深まり、認知症高齢者とその家族の安心した生活が支えられている	改善・見直し	現状維持
前回の評価結果の内容	認知症の本人とその家族が安心して住みなれた地域で生活していくためには、認知症になる前から地域とのつながりを持つことが重要であり、認知症の本人や家族を地域で支える仕組みづくりが求められます。そのために、認知症施策総合推進事業を積極的に周知することで、地域での事業全般の認知度を高め、支援を必要とする本人や家族への適時・適切な支援の提供に努めます。				
前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	どのように必要な情報収集を行っているかを分析し、地域での認知症施策全般の認知度を高めるための効果的な周知方法を検討しています。また、認知症施策検討専門部会において、施策の効果的な普及啓発方法について検討を行いました。それらの検討を踏まえ、積極的な普及啓発に取り組んでいます。				
高福03-01	みまもり訪問事業	福祉政策課	高齢者の安否を把握し、緊急時の体制が整っている		
高福03-02	小地域福祉活動の推進	福祉政策課	地域での悩みや課題を、住民同士で解決している		
高福05-01	権利擁護センター事業の充実	福祉政策課	成年後見制度などが普及している		

### 中間アウトカム(D)

### 高齢者が、切れ目のない医療・介護サービスを受けている

事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
高福06-01	地域包括支援センター(高齢者あんしん相談センター)の充実	高齢福祉課	個々の状況に合った適切なサービスにつながっている	改善・見直し	現状維持
前回の評価結果の内容	高齢者人口や相談件数が増加し、相談内容が複雑化する中でも、個々の状況に合った適切なサービスにつなげられるよう、センター間の総合調整や地域ケア会議の運営支援などセンターへの支援体制の強化を検討します。				
前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	センターの業務と区の支援体制の両面から、必要かつ効果的なセンター機能の充実を検討しています。				
高福06-02	医療と介護の連携強化	高齢福祉課(健康推進課)	地域の医療関係者と介護サービス事業者等が効果的に連携し、在宅療養を支援している	現状維持	現状維持
高福06-03	地域包括ケア推進委員会の運営	高齢福祉課	地域の実情を的確に捉えた事業構築が図られている	現状維持	現状維持
高福04-01	介護人材確保・定着等支援事業	介護保険課	区内介護サービス事業所の人材が確保され、定着している		
健03-01	地域医療連携	健康推進課	地域の医療機関が効果的に連携し、在宅療養を支援している		
健03-02	在宅療養者等歯科訪問健診事業	健康推進課	在宅歯科診療が推進され、かかりつけ歯科医が定着している		

## 評価実施のチェックリスト

以下の各項は、事業評価にあたって留意すべき視点です。課別評価シートの記入にあたって、これらの視点を踏まえて評価を行ったか確認し、それぞれの項にチェックを入れてください。

### 【課題の洗い出しの視点】

- 中間アウトカム等に影響を与える、社会状況の変化
- 中間アウトカム等に関連する、区民ニーズの変化
- 中間アウトカムの達成に向けた、各事業の貢献度（事業実績の推移）
- 「補助金ガイドライン」に沿った、適正な補助金の交付
- 障害を理由とした差別の解消・合理的配慮
- 男女平等参画や性的指向・性自認などへの配慮

### 【方向性の検討の視点】

- 中間アウトカム等の達成に向けた、より効果的・効率的な手段
- 中間アウトカム等の達成に向けた、より適切なサービスの提供主体（民間活力の活用）
- 中間アウトカムや事業目的が類似する事業との連携（整理・統合）
- 新規事業の必要性
- 投入する資源（予算・人員）の最適化・再配分